

ふれあい

事務局
大代地区公民館 電話 364-8442

生活会議運動大代地区推進協議会

地域づくりリーダー

研修会に参加して

この度、生活会議運動大代地区推進協議会跡辺会長の指示により会を代表して、宮城県並びに宮城県新県民生活運動協議会主催の仙南、仙台地区地域づくりリーダー研修会に参加したので、そのあらましについて報告いたし今後の運動と活動に参考の一助になれば誠に幸せと思えます。

一、日時 平成元年七月十三・十四日
二、場所 刈田郡蔵王町「蔵王ハイッ
三、参加者 仙台市外五市十町の新生活運動協議会、市町コミュニティ担当職員、実践モデル地区コミュニティ推進協議会等代表者約六十五名。

日程第一日は、十三時三十分に関会し、県生活福祉部県民生活課阿部謙一課長補佐から、要旨次のような挨拶がありました。

「この研修は、明るく住みよい地域づくりを目指し、コミュニティ活動や新県民生活運動の中心となって活躍しているリーダーがそれぞれの目的を確認して、地域づくりのあり方や日常生活の手法等について学び、その問題点などについて語り合い、その地域の特性を活かした自主的主体的な活動の展開による地域づくりを考え、生活運動の充実発展を目指すよう、一層の努力を望みます。」

引き続き、県の事業及び新生活運動協議会の概要について、同課大槻文郎

係長から次のとおり説明があった。

- 一、コミュニティ(地域づくり)の呼称は、昭和四十六年度が始まりで来年度で二十五年を迎えるので更に飛躍の年としたい。
- 二、活力ある、そして個性に満ちた二十一世紀をつくる。
- 三、平成二年度は、(イ)郷土を美しくしよう。(ロ)まちを花いっぱいにしてしよう。を重点目標にして事業を推進したい。

続いて、白石市立福岡小学校校長竹野晃平先生の「リーダーに求められるもの」と題して講話がありました。先生のお話は非常に判り易く、含蓄があり、殊にリーダーとして求められるものは、独断専行型の織田信長的と熟慮遠謀型の徳川家康的な二面的な者が求められると思うとお話があり、感銘を深くした。次に角田市横倉地区コミュニティ推進協議会役員兼同地区公民館長湯村太郎氏と亘理町上ノ町実践モデル地区代表阿部信男氏から、約一時間間にわたり事例の発表がありました。が、両地区共大規模とは言えないが、非常に住民の啓発と事業展開に対し創意工夫の跡が見られ、なかんづく青年層の参加協力に対する配慮、新住民に対する融和、コミュニティ対策等についての努力は素晴らしいものがあつたと推測される。明日の日程である分科会及び全体会議の持ち方について検討後、第一日目を終了した。

翌日は、各分科会に於いてのメイン

テーマ「地域づくりの行事を考える」であり、サブテーマ

- 1 心のふれあう場づくりの工夫
- 2 企画運営とその問題点
- 3 リーダーの役割
- 4 行事から運動への展開

これについて、各市町村分科会員よりそれぞれの事業内容と運営等について説明があった。

私の所属する第四分科会においては、当該行政区長の「新生活運動」への無理解、非協力について話題となり関心の的となった。

全体会議において、各記録発表者より発表があった。各分科会の結論を要約すると

- 一、チャンスをつくり活用する。
- 二、横の線を密にする。
- 三、可能なものから実行する。
- 四、地域づくりは健常者のみでなく、全地域住民の参加が必要。
- 五、リーダーの役割については、時には織田信長型となり又徳川家康型となり得る人が必要。
- 六、行事と運動への展開については、行事の展開が即時的である。

以上の点を充分考慮して「地域づくりの行事を考える」ことが最も肝要であるとの全体会議で結論づけられた。

このリーダー研修会を通して感じたことは、一人でも多くの人とふれあい意見を交換し、今までの良き行事を踏襲して創意工夫し、意見の相違も常にあることを念頭におき「地域づくり」

に誠実にとりくむ必要を痛感してまいりました。どうか地域住民の方々、そして生活運動大代地区推進協議会役員の皆さん、会長を中心に明るく住みよい地域づくりに頑張ろうではありませんか。

※ 参考まで、本研修会のなかで「生活会議運動大代地区推進協議会」が、県の生活会議運動の指定を受けました。

生活会議運動
大代地区推進協議会
副会長 鈴木正介

流灯花火大会

例年ですと、八月二十日に予定されておりましたが、本年は都合により八月十九日(土)橋本橋阿元において、先祖供養の燈籠流しが行われ、併せて花火大会も実施されます。

親子連れだつて先祖に感謝をささげ、幸せを祈って夏の良い思い出にしましょう。

短歌

雪溪の解けて滴る音響き

山はおそき春黄すみれの咲く
隣国の学生デモの壊滅の様

老二人切なく見をり
東区 跡辺文江

御祝儀、お見舞いは、三千元を限度にお返し物はしないようお互い気を配りましょう。御祝儀、お見舞いは、三千元を限度にお返し物はしないようお互い気を配りましょう。

あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう出会った人と：あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう出会った人と：あいさつは心のふれあい、あいさつしましょう

